

文部科学省初等中等教育局教職員課
教員免許企画室長 日向 信和 殿

財団法人私立大学通信教育協会
理事長 高橋 陽 一

教員の資質向上方策の抜本的な見直しに係る検討課題について（意見）

教員の資質向上方策の抜本的な見直しを考えるにあたって、大学通信教育の役割は現在においても、将来においても、大きな位置を占めるものと考えます。

大学通信教育は、大学、大学院、短期大学等において社会人に開かれた教員養成を行うとともに、免許状更新講習などの実施により現職教員の研修等にも大きな役割を果たしています。財団法人私立大学通信教育協会に加盟する63校（35大学、18大学院、10短期大学）では、高等学校17教科、中学校11教科、小学校、幼稚園、特別支援学校、養護教諭の免許課程を開設しており、働きながら学ぶ学生による教員免許状の取得や現職教員による免許状上進等の不可欠の機会となっています。また、免許状更新講習では、平成20年度には本協会にて試行を実施して教材開発等にあたり、平成21年度からは各大学が通信講習などで実施することにより、離島・遠隔地に勤務する教員などの受講機会の保証をはじめ、大きな役割を果たしています。

つきましては、現在検討されている教員の資質向上方策の抜本的な見直しにあたりましては、現在の大学通信教育の役割や機能について十分な検討がなされ、社会人が教員になるための機会や、現職教員が資質向上の機会を広く享受するためには、大学通信教育で実現可能な方策とすることを十分に検討する必要があると考えます。

次のとおり、「教員の資質向上方策の抜本的な見直しに係る検討課題について」の項目に沿って大学通信教育の観点から大学通信教育の現在の役割と今後の検討の可能性について述べます。

1. 働きながら学ぶ教員養成と現職研修という視点

教員に求められる資質能力については、通学制の学生等だけではなく、大学通信教育において働きながら学ぶ学生や、免許状上進などを目指して学んでいる現職教員の存在をも視野に入れて検討する必要があります。18歳で高等学校から大学に進学するルートだけではなく、さまざまな経験を持った社会人が教職に就くための門戸が、大学通信教育によって保証されています。大学通信教育により多様な社会的経験を積んだ教員を養成できることは、日本の教員の資質能力全体が向上するための大きな利点であると考えます。

2. 多様な教員免許制度のための保証

現在の教員免許制度は、免許状の上進、他教科や他学校種の免許状の取得、教員免許状更新制など、重層的な制度となっています。こうした制度が実質的に機能するために、現職教員や編入学者、卒業後の免許状取得希望者などを受け入れている大学通信教育が果たしている役割は大きいものです。多忙な現職教諭やさまざまな仕事をかかえる非常勤講師、さらには他の職業に従事しながら免許状取得を希望する者にとっては、通学制の大学・大学院だけでは門戸は制限されます。どのような教員免許制度を構想するとしても、今日の知識基盤社会においてあらゆる社会人や教員に開かれたものとするためには、大学通信教育で実現可能な制度設計を行う必要があります。

3. 通信教育課程で実現可能な構想の必要

大学の教員養成課程の在り方については、大学通信教育が大学の通学制とは異なる努力や工夫により行われていることを勘案して、大学通信教育で実現可能な教員養成の構想を確立する必要があります。教科書等の教材開発、ITを活用した学習システムの開発、さまざまな過去の学習歴や免許状取得状況をもつ多様な学生の受入体制、そのための大学での指導などが、大学通信教育では必要となります。どのような教員の資質向上策を考えるとしても、大学通信教育での実施が可能なものとするためには、十分な時間をかけた検討が不可欠と言えます。

4. 現職教員の様々な制約への対応

現職教員の資質向上の在り方については、現職教員の勤務実態や实际生活に即して考える必要があります。さまざまな研修等の保証により通学課程の大学・大学院での現職教員の学習も進んでいますが、職務と研修の両立のためには、大学等に通学するだけでなく、職場や家庭で学ぶことのできる制度が必要です。現在も免許状の上進、他教科や他の学校種の免許状取得、免許状更新講習のための機会が大学通信教育によって提供されていますが、これからの現職教員の資質向上についても、大学通信教育での方策を十分に考える必要があります。

このとおり、教員養成と研修等についての大学通信教育の現在の役割と今後の可能性について述べましたが、現在報道されている教員養成6年制などについて大学通信教育の学生や担当する教員から大学通信教育での実施可能性や意義について危惧が寄せられていることは確かであり、教員の資質向上策の抜本的な見直しの検討に当たっては、大学通信教育での実施可能な方策とすることが必要不可欠の前提と考えますので、重ねてご意見を申し上げる次第です。